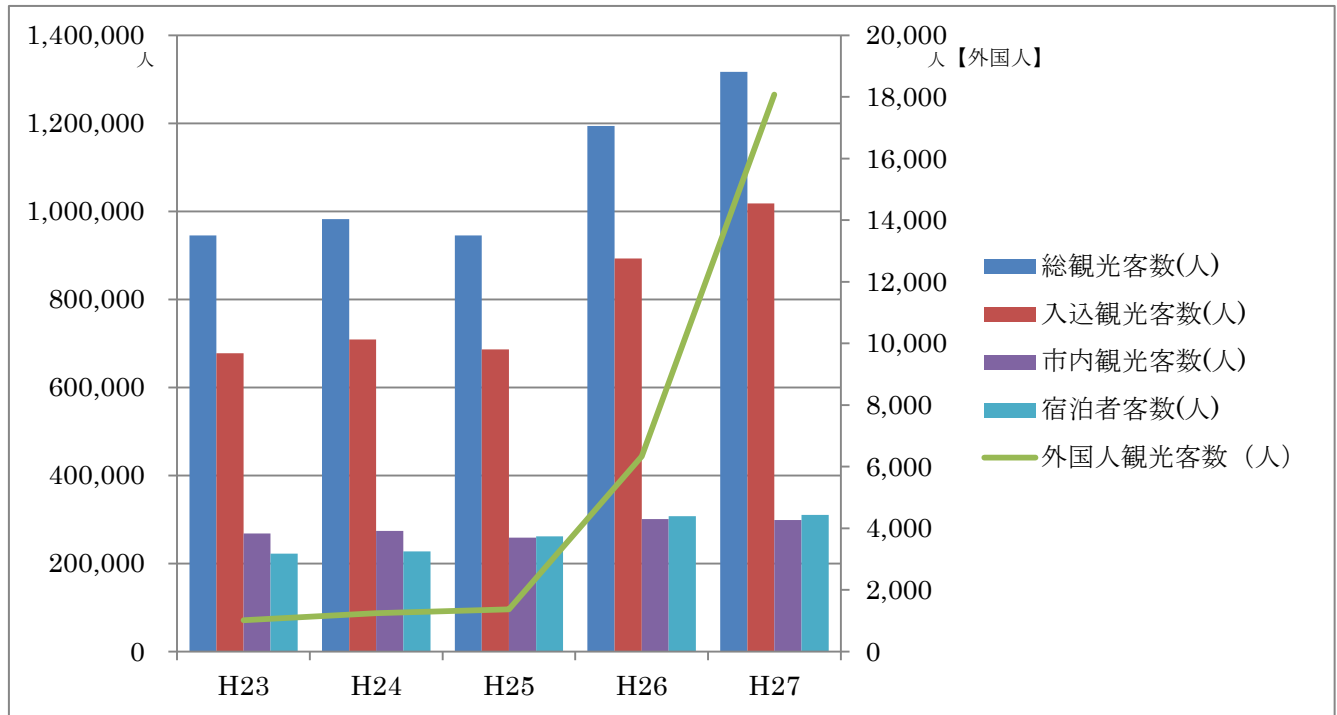
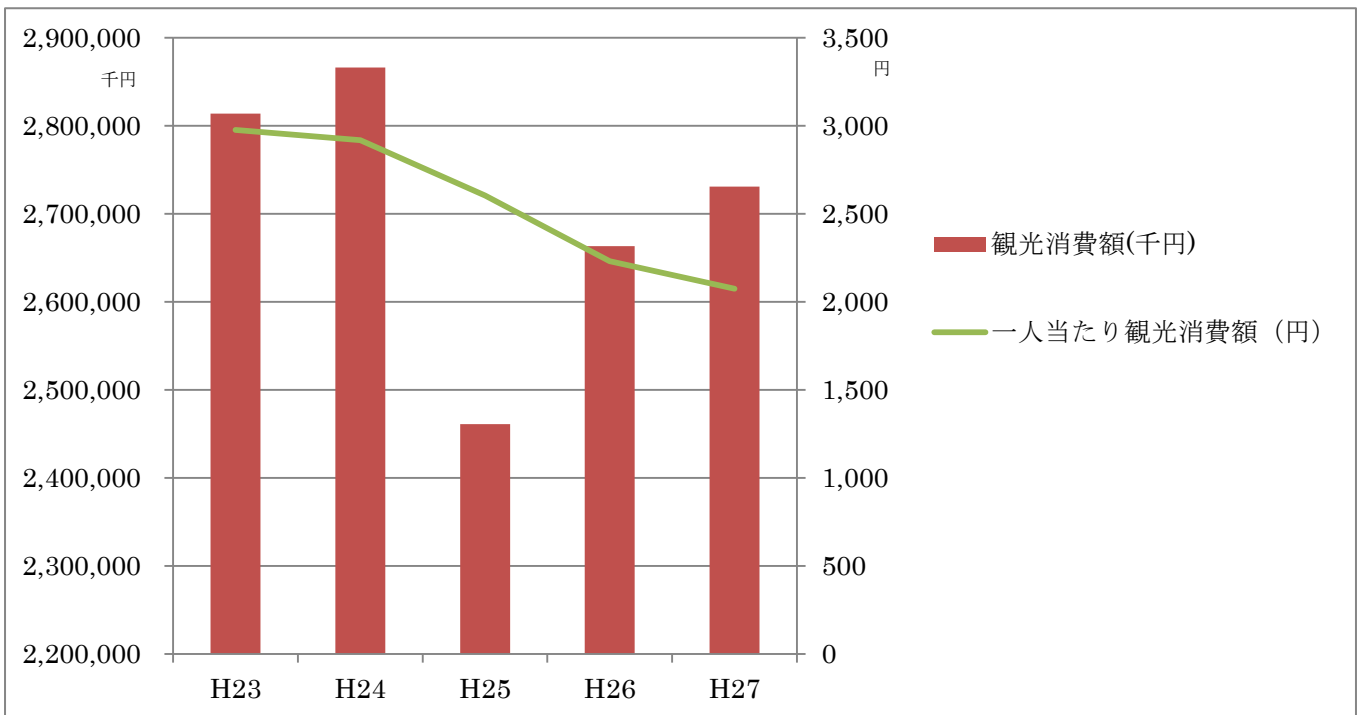


◎観光客数の状況



◎観光消費額の状況

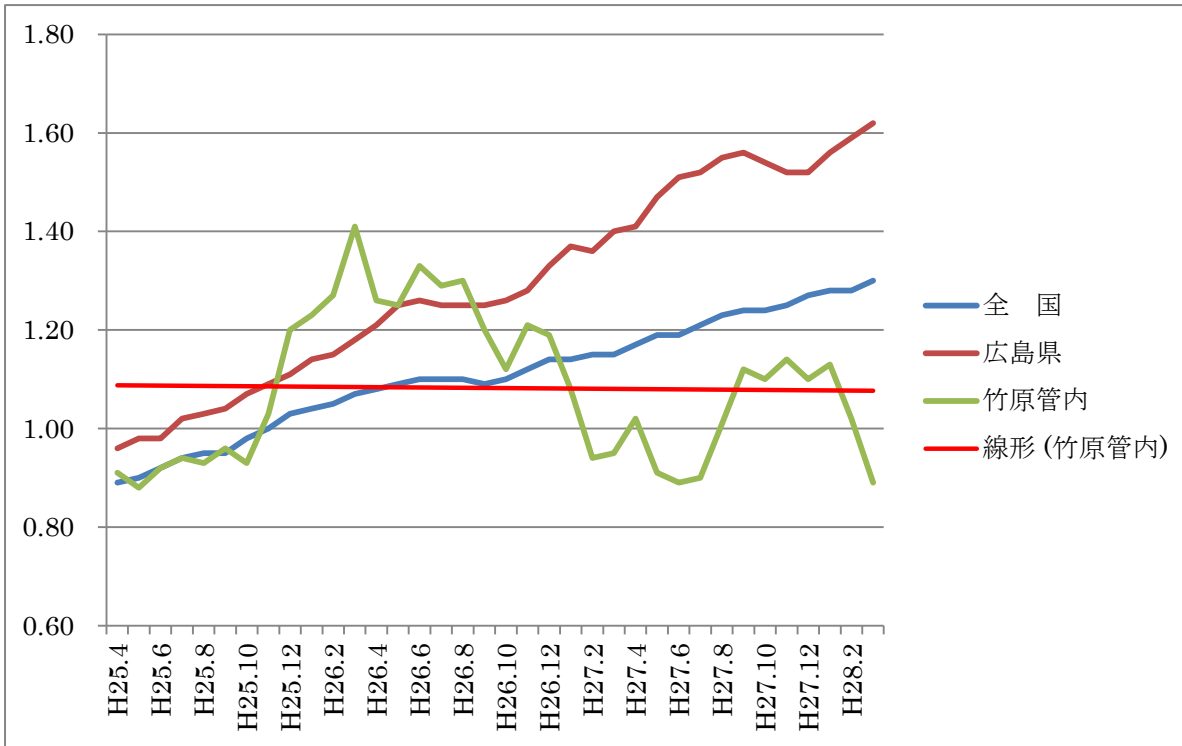


○観光振興については、平成 27、28 年度において国交付金を活用して事業を進めており、また「ひと」の創生の柱の一つであることから、今後の方向性等の検討材料とするため、観光客数、観光消費額の動向を示したものの。

○平成 27 年度の総観光客数、入込観光客数については、それぞれ約 130 万人、約 100 万人となり、過去最高となった。加えて外国人観光客数についても、約 18,000 人となり、平成 26 年度と比較して、約 3 倍となっている。

○一方で、一人当たり観光消費額は年々減少傾向を示していることから、一人当たり観光消費額の拡大に向けた取組が必要であると考えます。

◎有効求人倍率



○有効求人倍率を上昇させることは、「しごと」の基本目標に掲げる新規就業者を確保する上でも重要であることから、その動向の推移を示したもの。

○全国、広島県、竹原管内（竹原市、大崎上島町）の比較では、広島県、全国が順調に右肩上がりに上昇しているのに対し、竹原管内では一定の動きとなっていない（大まかな傾向（線形）ではあるが、ほぼ横ばいとなっている）。

○そのため、雇用機会及び雇用の場の拡充が必要であると考えます。

◎区画整理地区内の状況

・住居等の純増数

	住居	アパート	商業施設	医療施設	福祉施設	計
H25 年度	6	1 (6 戸)	0	2	0	9
H26 年度	5	0	1	0	0	6
H27 年度	4	3 (14 戸)	3	0	0	10
計	15	4 (20 戸)	4	2	0	25

○区画整理事業を進捗させることは、「まち」の創生の一つの柱である「コンパクトな市街地整備の推進」につながることから、その現状を示したもの。

○住居については、毎年5件程度の住居が建築されている。

○アパートについては、年度間でばらつきはあるが、3年間で4件（20戸）が建築されている。

○商業施設については、新規店舗等の出店が4件あった。

○医療施設は、2件（歯科）の開院があった。